

循環経済が生み出す新市場と ケミカルリサイクルの最前線

～プラスチック循環の動向と、「三層の供給インフラ」「3つの経営判断」～

講
師

出光ケミカルリサイクル・ジャパン株式会社
代表取締役社長 岡村 仁彦 氏
ボストン コンサルティング グループ
アソシエイト・ディレクター 上田 郁哉 氏

日 時 2026年11月20日(金) 午後4時～6時
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2週間、何度でもご視聴可)
会 場 SSK セミナールーム 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4F

I. なぜ今、ケミカルリサイクルなのか

岡村 仁彦 氏【16:00～16:55】

～資源循環時代の新たな経営課題への準備～

時代は、リニアエコノミーからサーキュラーエコノミーへ。資源循環、経済安全保障、カーボンニュートラルへの対応が新たな経営課題となっている。本講演では、サーキュラーエコノミーの中でも、国内外で急速に進むプラスチック資源循環をめぐる規制・政策を説明し、こうした環境変化が企業に求める対応を俯瞰する。

その上で、プラスチック資源循環の一つの解決手法となるケミカルリサイクル(CR)に関して、当社の取組事例を交えながら、CRの意義と可能性、社会実装に向けた課題、今後の事業展望を紹介する。

- | | |
|------------------------------|-----------------------|
| 1. リニアエコノミーからサーキュラーエコノミーへの変化 | 4. 当社の取り組み |
| 2. プラスチック資源循環をめぐる最新の国内外動向 | 5. ケミカルリサイクルの今後の展望と課題 |
| 3. 企業に求められる対応 | 6. 質疑応答／名刺交換 |

II. サーキュラーエコノミーが生み出す新市場 再生材サプライチェーンの構築戦略

上田 郁哉 氏【17:05～18:00】

自由貿易が当たり前だった時代、企業にとっての資源調達とは「世界で最も安い供給源を探す」競争だった。

しかし現在は、「そもそも供給を断たれないか」という問いへと変わりつつある。重要鉱物やナフサだけでなく、鉄やアルミニウム、銅といった身近な金属にまで、資源確保の重要性は広がっている。

日本は資源の多くを輸入に依存する一方、国内で発生する金属スクラップは海外へ流出し、廃プラスチックの大半は焼却時の熱利用にとどまるなど、資源を十分に循環させられていない。こうした中、政府は2026年4月に「循環経済行動計画」を決定し、2030年までに官民合わせて約1兆円を投じ、再生資源の供給サプライチェーンを強靱化する方針を打ち出した。この動きは、企業の調達戦略や事業ポートフォリオにも大きな影響を及ぼしう。

本セミナーでは、同計画が描く「回収・再生・市場」という三層の供給インフラの全体像を整理するとともに、欧州連合(EU)の重要原材料法(CRMA)や中国の資源循環戦略など、諸外国の政策動向も踏まえながら、資源循環がなぜ企業競争力を左右するのかを解説する。

そのうえで、素材産業から金融まで幅広い業界に共通する「調達力への先行投資」「エコシステムの結節点の確保」「ビジネスモデルの起点としての捉え直し」という、企業がいま迫られている3つの経営判断について考察する。

- | | |
|---|---|
| 1. 資源をめぐる経営環境の変化 | 4. 供給インフラへのアクセスが左右する企業競争力 |
| 2. 欧米中の政策動向と「循環経済行動計画」 | 5. 企業に求められる三つの経営判断 |
| 3. 再生材サプライチェーンを支える
「三層の供給インフラ」
～回収、再生、市場の三つのインフラ～ | (1) 調達力への先行投資
(2) 結節点を抑える
(3) CEをコストではなく、ビジネスモデルの起点として捉える |
| | 6. 質疑応答／名刺交換 |

PROFILE 岡村 仁彦(おかむら まさひこ)氏

1995 年 4 月 出光興産 入社 大阪支店営業課(石油製品・石炭販売)。2011 年 4 月 機能化学品部 粘接着機材担当課長。2013 年 4 月 機能化学品部 市場開発グループリーダー。2017 年 7 月 化学事業部 芳香族課長。2019 年 4 月 基礎化学品部 事業戦略担当マネジャー。2023 年 7 月 ケミカルリサイクル・ジャパン 代表取締役社長。2026 年 10 月 出光ケミカルリサイクル・ジャパン 代表取締役社長。

PROFILE 上田 郁哉(うえだ いくや)氏

BCG 気候変動・サステナビリティグループのコアメンバー。循環型経済領域のエキスパート。
千葉大学工学部卒業。グロービス経営大学院大学経営研究科経営専攻修了(MBA)。
再生可能エネルギー機器メーカー、シンクタンク、外資系コンサルティングファームなどを経て現在に至る。

- 受講料 各受講方法 1名につき 34,100円(税込)
同一のお申込フォームよりお申込の場合、2人目以降 27,500円(税込)
※会場又はライブ配信受講者様で、アーカイブ配信もご希望の場合は追加料金11,000円(税込)で承ります。
- お申込方法 二次元バーコード、又は FAX にてお申し込み下さい。
折返し受講証、請求書、会場地図(会場受講のみ)をメール(PDF)にてお送りいたします。
お申込み後、3営業日以内にお手元に届かない場合は必ずご一報下さい。
(セミナー会場にて受講される方は受講証画面を提示、もしくはプリントアウトしてご持参ください)
※お客様のご都合でキャンセルされる場合は、「開催1週間前まで」にお申し出下さい。
その後のキャンセルは、お申し受けできませんのでご了承下さい。
- お支払方法 請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込をお願いします。(遅れる場合はご相談下さい)

事前に、セミナー講師へのご期待、ご要望、ご質問をお受けしております。
可能な限り講義に盛り込んでいただきますので、お申し込み後、弊社からご連絡するメールにご返信ください。

■ライブ配信について

- <1>Zoom にてライブ配信致します。
- <2>お申込時にご登録いただいたメールアドレスへ視聴用 URL と ID・PASS を開催前日までに送り致しますので、開催日時に Zoom へご参加ください。

■アーカイブ配信について

- <1>開催日より3~5営業日後を目安に Vimeo にて配信致します。
- <2>お申込時にご登録いただいたメールアドレスへ収録動画配信のご用意ができ次第、視聴用 URL を送り致します。
- <3>動画は配信日より2週間、何度でもご都合の良い時間にご視聴頂けます。

11月20日(金)		「循環経済が生み出す新市場とケミカルリサイクル」		申込日	月	日
貴社名						
所在地	〒 ○印をお付けください (ご自宅・お勤め先)					
いずれかの□に必ず✓をお入れ下さい。(アーカイブ配信の追加受講をご希望の場合は、2つ✓をお入れ下さい。)						
☐ 会場受講		☐ ライブ配信		☐ アーカイブ配信		
フリカ`ナ氏名			所属部署・役職			
TEL	() -		FAX	() -		
E-mail	ブロック体でのご記入をお願いいたします。					
※複数名様お申込の場合は下記にご記入をお願いいたします						
いずれかの□に必ず✓をお入れ下さい。(アーカイブ配信の追加受講をご希望の場合は、2つ✓をお入れ下さい。)						
☐ 会場受講		☐ ライブ配信		☐ アーカイブ配信		
フリカ`ナ氏名			所属部署・役職			
TEL	() -		FAX	() -		
E-mail	ブロック体でのご記入をお願いいたします。					
※「受講証」等の送付先が上記と異なる場合は下記にご記入下さい。						
通信欄						

詳細・お申込はこちら↓■主催(お申込み・お問い合わせ先) 株式会社 新社会システム総合研究所

お申込み受付 FAX 03-5532-8851

〒105-0003 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4階
Tel:03-5532-8850/E-mail:info@ssk21.co.jp/URL:https://www.ssk21.co.jp

※配信停止、宛先変更、個人情報の苦情及び相談・開示は上記までご連絡下さい。

26625-E

